

2020年3月期 決算説明会

トヨタ自動車株式会社
2020年5月12日

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆ 日本、北米、欧州、アジアおよび当社が営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- ◆ 為替相場(主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、ロシア・ルーブル、加ドルおよび英国ポンドの相場)、株価および金利の変動
- ◆ 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- ◆ 効果的な販売・流通を実施する当社の能力
- ◆ 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施する当社の能力
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいて当社の自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めた当社のその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- ◆ 当社が営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- ◆ タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにする当社の能力
- ◆ ブランド・イメージの毀損
- ◆ 仕入先への部品供給の依存
- ◆ 原材料価格の上昇
- ◆ デジタル情報技術への依存
- ◆ 当社が材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- ◆ 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延による様々な影響

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービス)により掲載された時点をもって「公表」されたものとみなされます。

2020年3月期 決算説明会

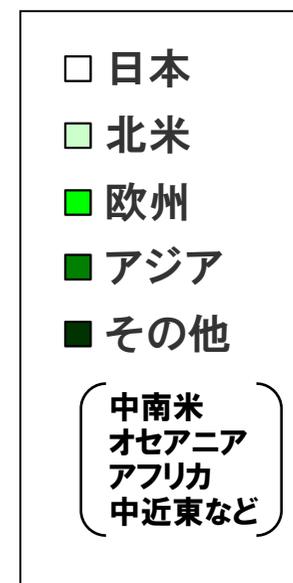
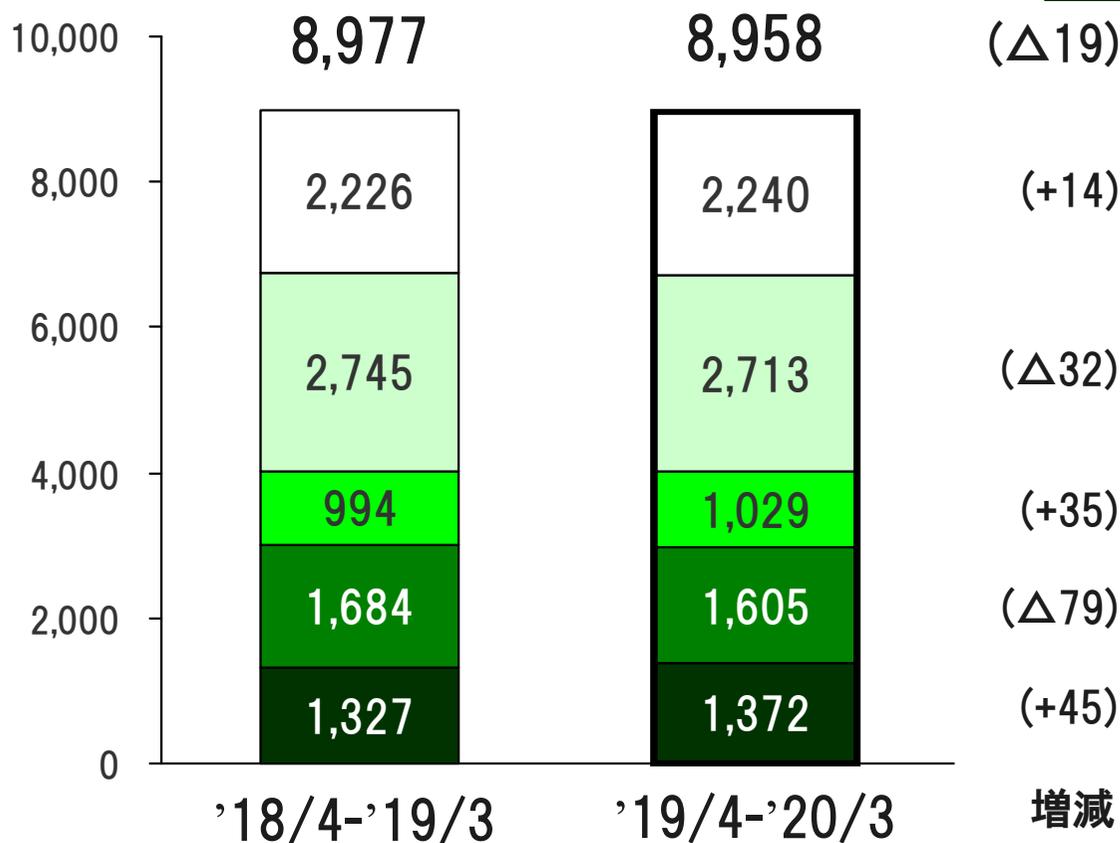
2020年3月期 実績

2021年3月期 見通し(IFRS)

連結販売台数

(単位:千台)

コロナ影響
・連結販売台数 $\Delta 127$ 千台



<ご参考>

グループ総販売台数 (小売)	10,603	10,457	$\Delta 146$
-------------------	--------	--------	--------------

連結決算要約

(単位:億円)	当期	前期	増減	
	('19/4-'20/3)	('18/4-'19/3)		
売上高	299,299	302,256	△2,956	
営業利益	24,428	24,675	△246	
営業利益率	8.2%	8.2%		
営業外損益	1,117	△1,820	+2,938	
税引前利益	25,546	22,854	+2,691	
持分法投資損益 *1	2,711	3,600	△889	
当期純利益 *2,3	20,761	18,828	+1,933	
〈ご参考〉特定要因(*3)除き	21,142	21,765	△623	
当期純利益率	6.9%	6.2%		
為替	米ドル	109円	111円	2円円高
レート	ユーロ	121円	128円	7円円高

コロナ影響

・売上高 △3,800億円
・営業利益 △1,600億円

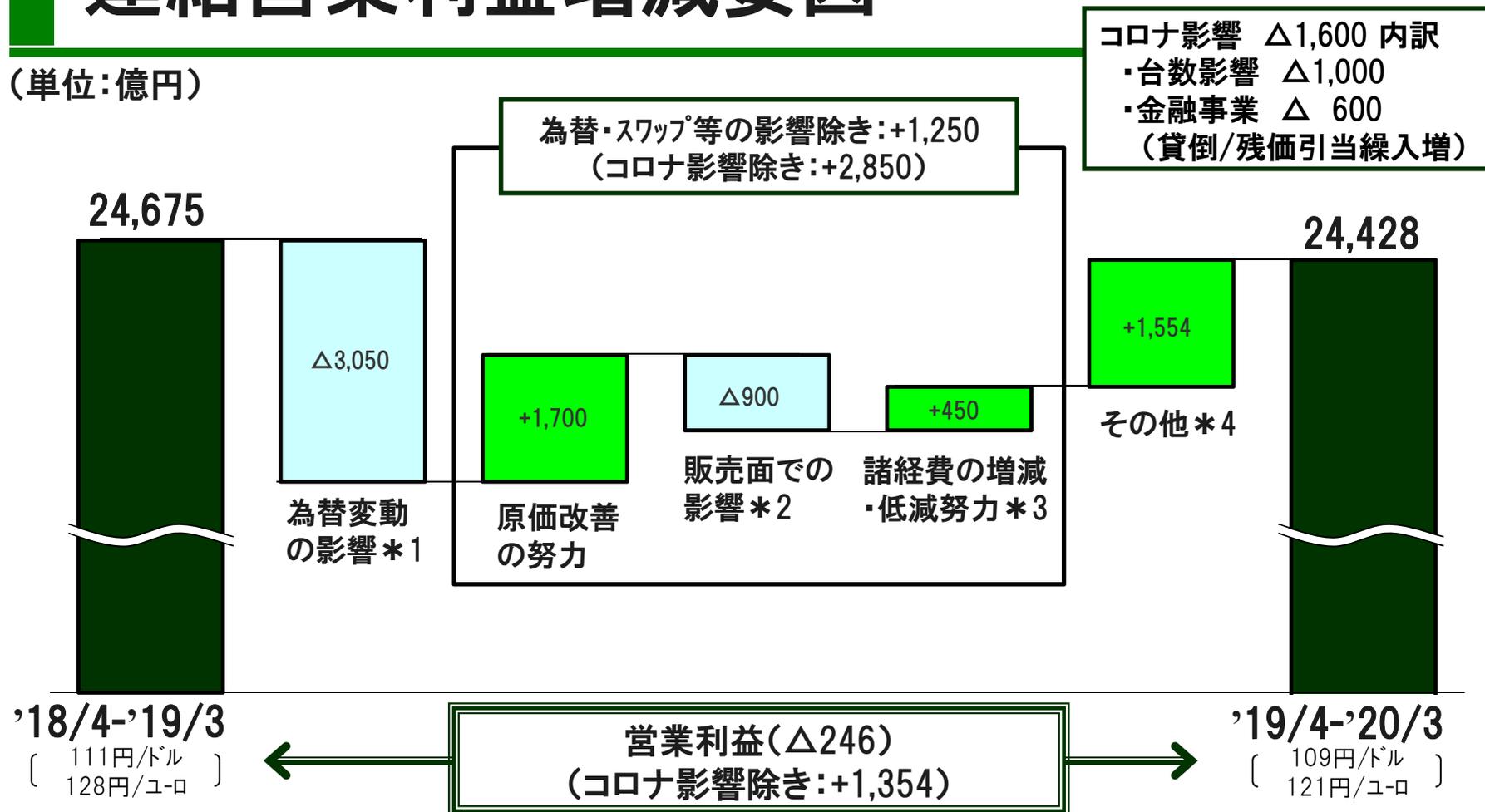
*1 うち、日本1,207(前年同期比△997)、中国1,181(同+131)、その他323(同△23)['19/4-'20/3]

*2 当社株主に帰属する当期純利益

*3 未実現持分証券評価損益が純利益に与えた影響△381億円['19/4-'20/3]、△2,937億円['18/4-'19/3]

連結営業利益増減要因

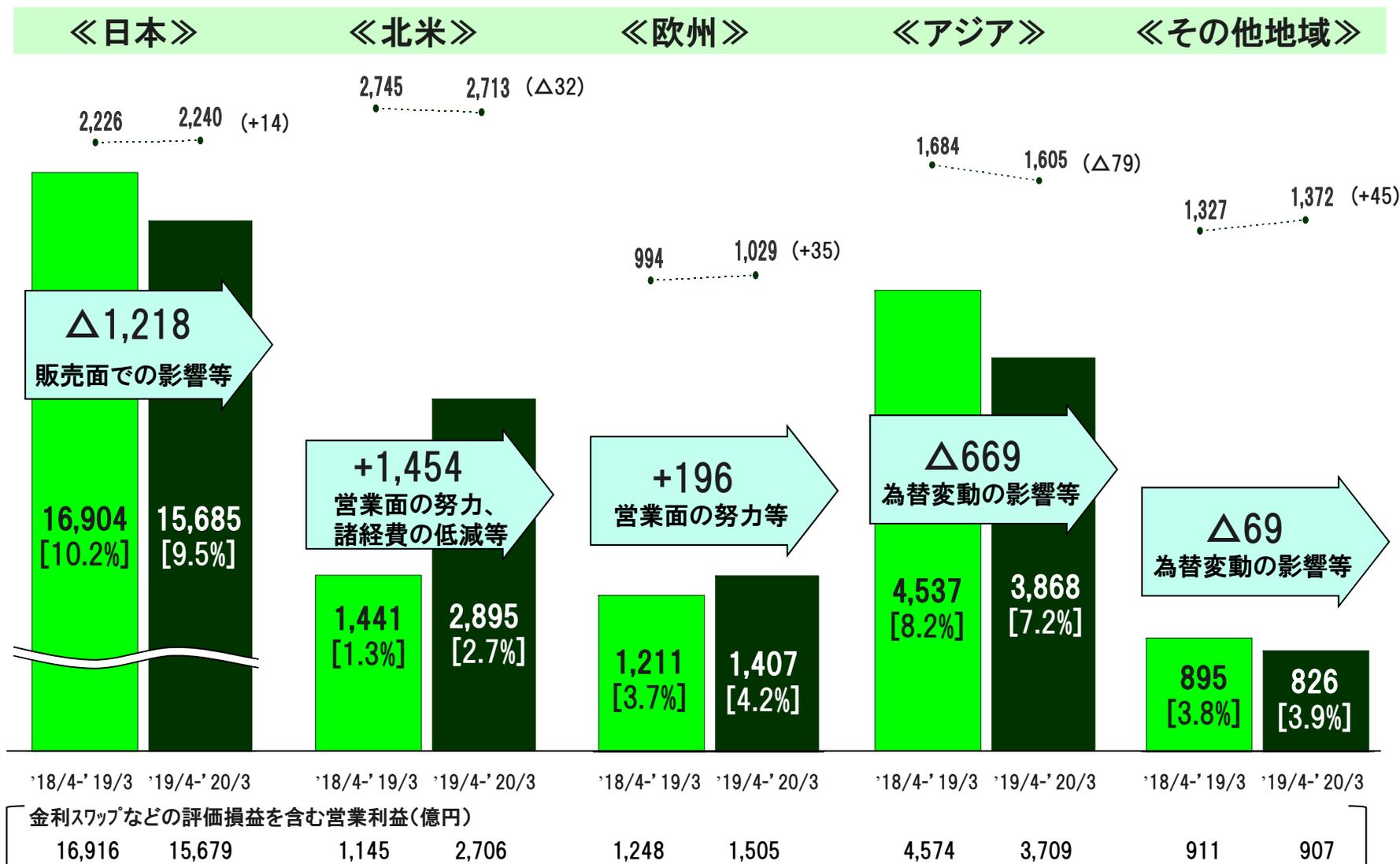
(単位:億円)



*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	△3,250	海外子会社の	△250	台数・構成	△2,600	労務費	△600
-米ドル	△1,050	営業利益換算差		金融事業	△250	減価償却費	△100
-ユーロ	△500	その他	+450	その他	+1,950	研究開発費	△650
-その他通貨	△1,700	(外貨建引当の期末換算差ほか)				経費ほか	+1,800
						スワップ評価損益ほか	△178
						減価償却方法変更	+1,732

所在地別営業利益

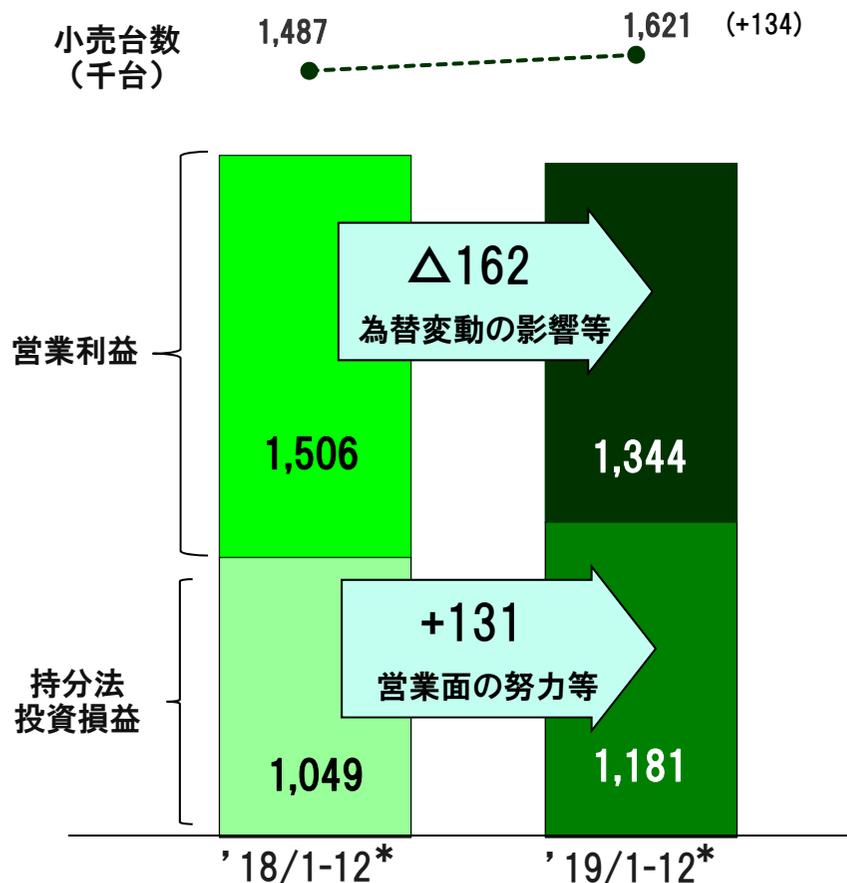
■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 -●- 連結販売台数(千台)



中国事業/金融セグメント

《中国事業の状況(ご参考)》

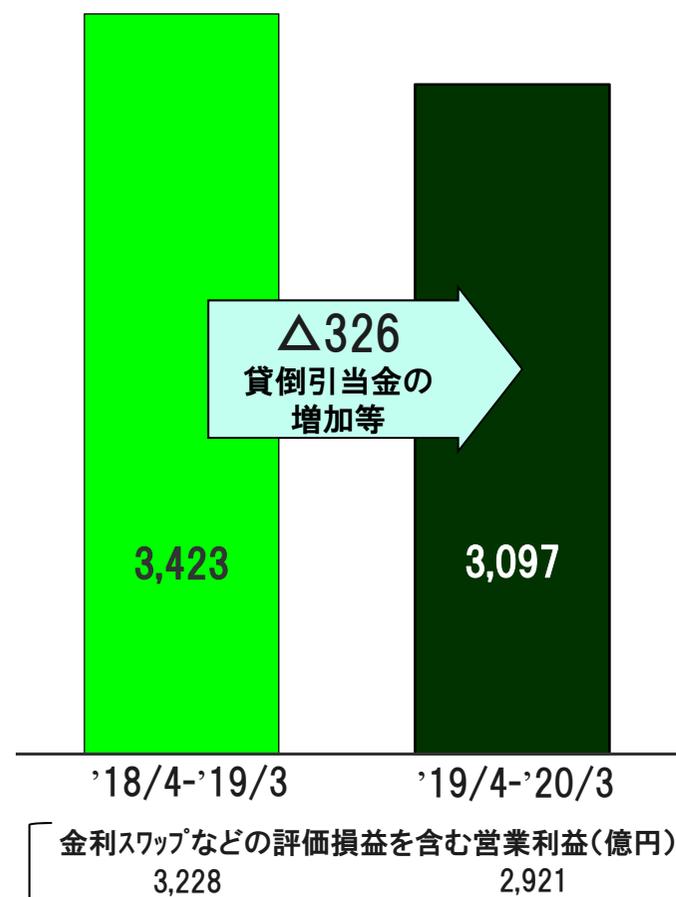
- 中国連結子会社 営業利益(億円)
- 中国持分法適用会社 持分法投資損益(億円)



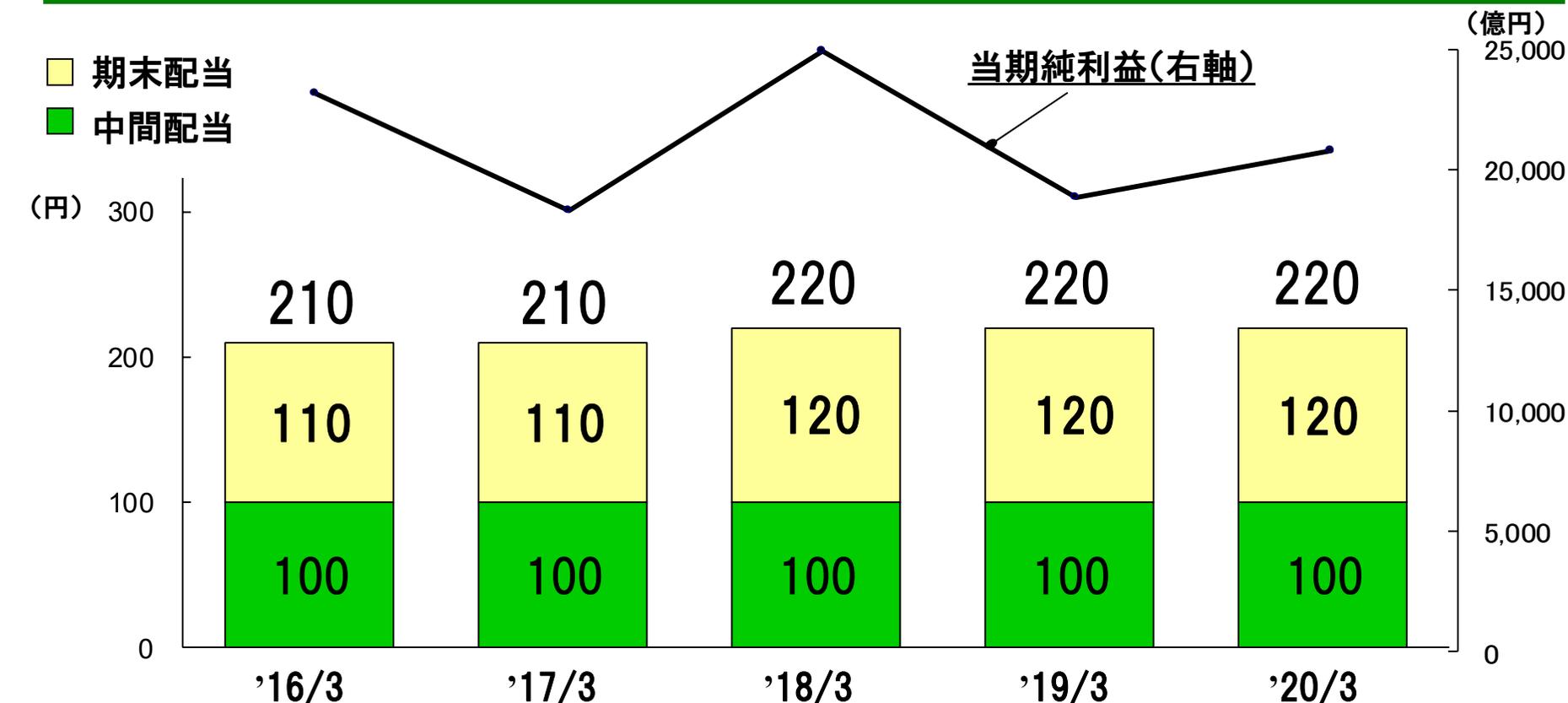
* 中国の会社は12月決算
1-12月の数値を3月期の連結決算に取り込み

《金融セグメント》

- 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く>



株主還元：配当金

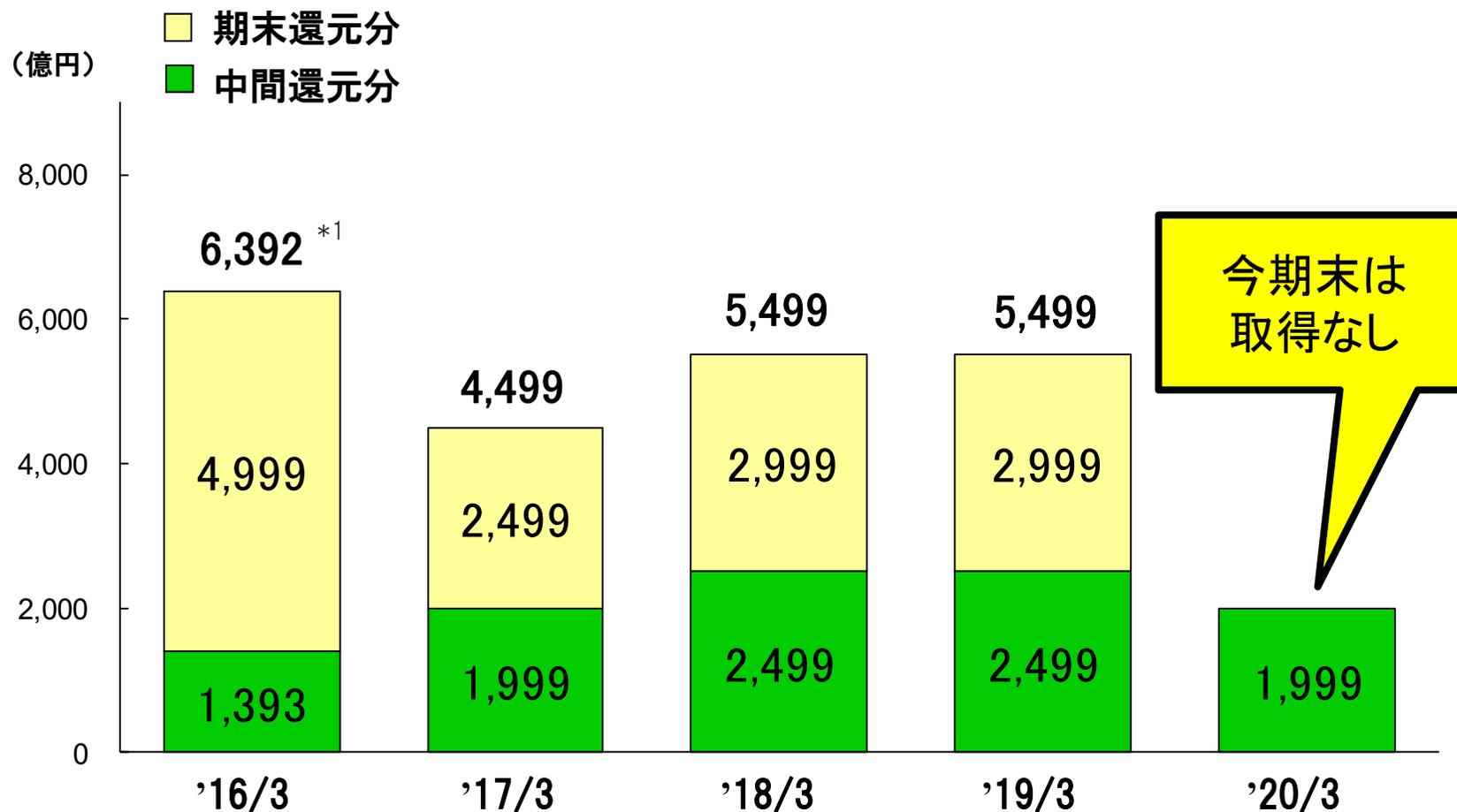


	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3
配当総額 (億円)	6,455	6,275	6,426	6,268	6,108
配当性向 ^{*1}	28.3%	34.6%	26.1% (29.0%)	33.8% (29.2%)	29.9% (29.3%)

*1 配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当社普通株主に帰属する当期純利益

*2 米国税制改正の影響('18/3)、未実現持分証券評価損益の影響('19/3、'20/3)除く

株主還元：自己株式取得



総還元額*2 (億円)	12,872	10,824	12,000	11,867	8,232
----------------	--------	--------	--------	--------	-------

^{*1} 第1回AA型種類株式発行による希薄化回避分を除く
^{*2} 第1回AA型種類株式への配当を含む

2020年3月期 決算説明会

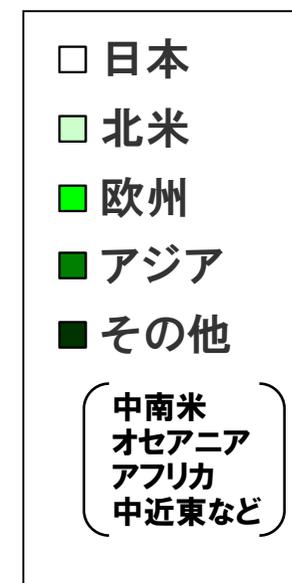
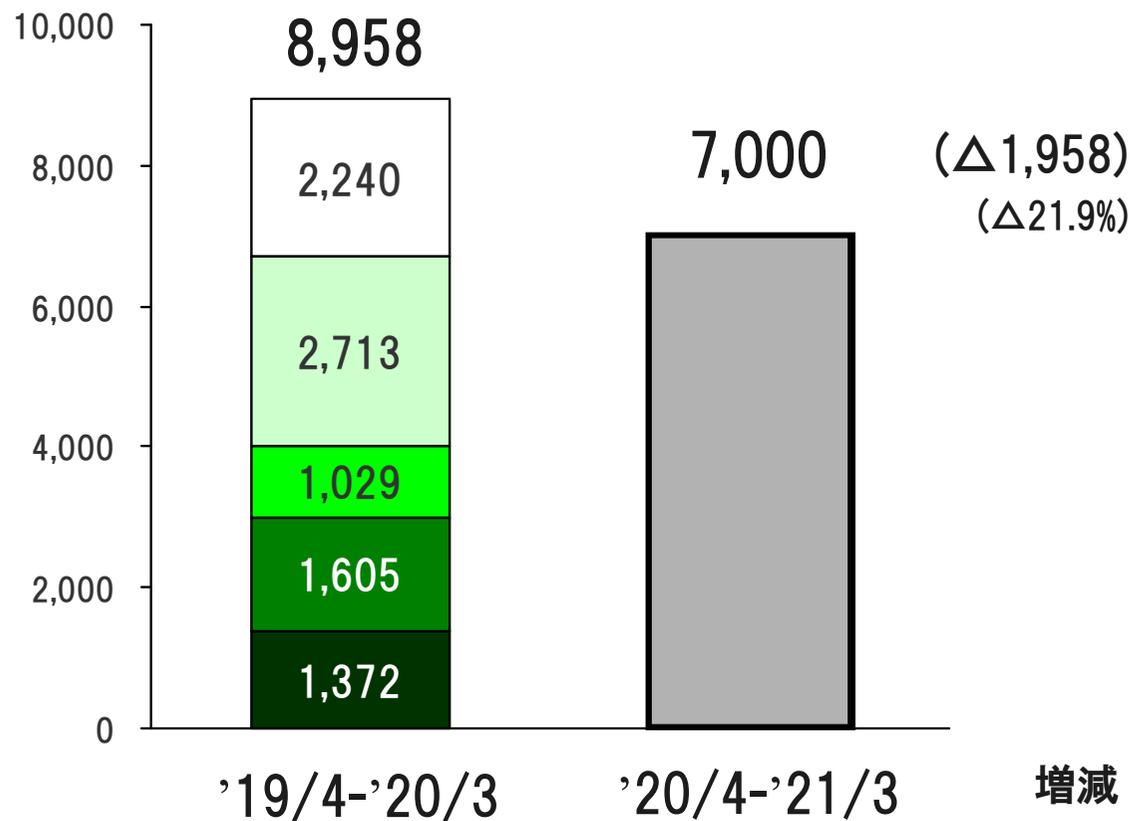
2020年3月期 実績

2021年3月期 見通し(IFRS)

※当社は、2021年3月期第1四半期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用するため、連結業績の見通しはIFRSに基づき算出しています。

前提台数(連結販売)

(単位:千台)



<ご参考>

グループ総販売台数 (小売)	10,457	8,900	△1,557 (△14.9%)
-------------------	--------	-------	--------------------

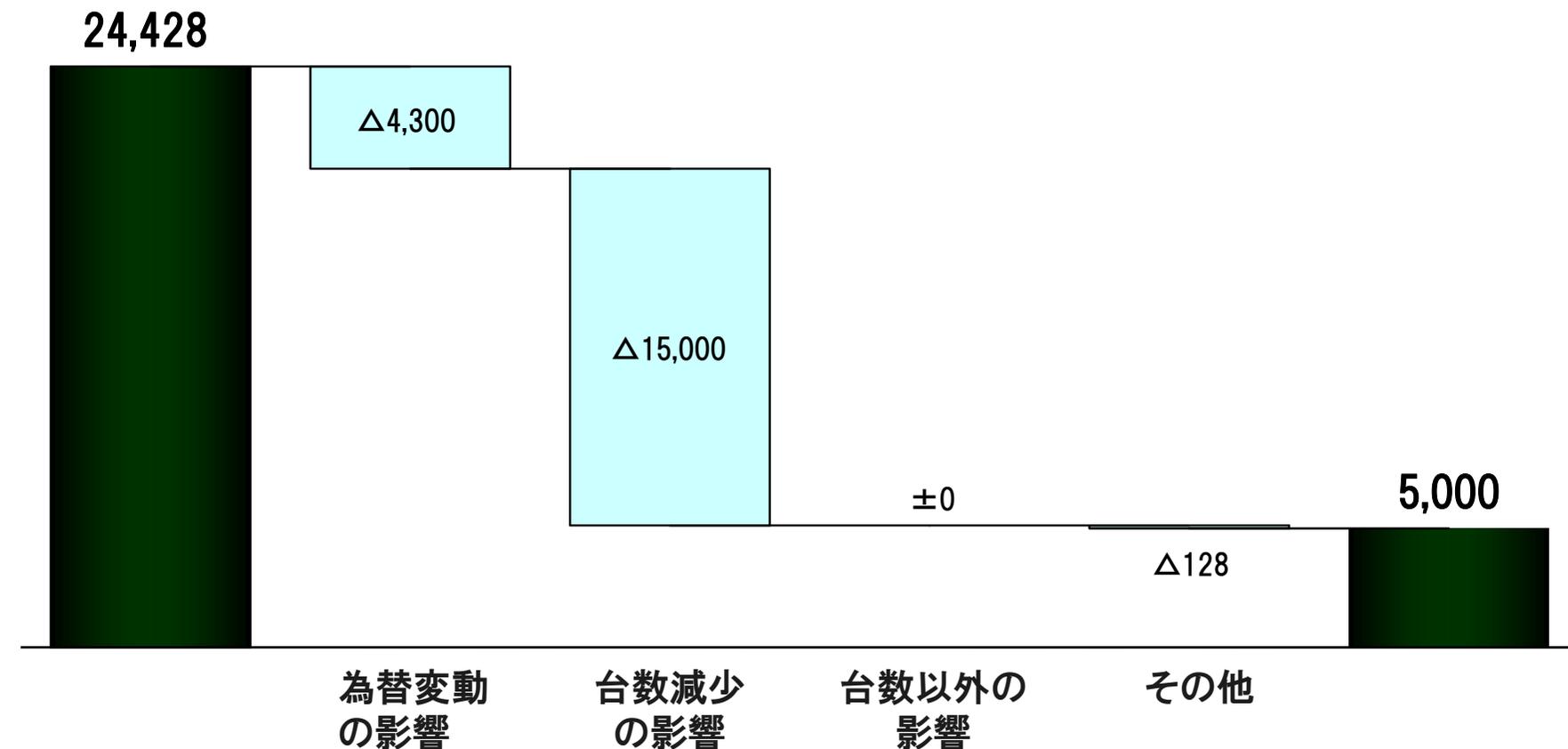
連結決算見通し要約

(単位:億円)	2021/3月期 通期見通し (’20/4-’21/3) <IFRS>	2020/3月期 通期実績 (’19/4-’20/3) <米国会計基準>	増減	
営業収益	240,000	299,299	△59,299	
営業利益	5,000	24,428	△19,428	
営業利益率	2.1%	8.2%		
持分法による投資損益		-	-	
税引前利益		25,546	-	
持分法投資損益		2,711	-	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	未定	20,761	-	
<ご参考>特定要因(*1)除き		21,142	-	
当期利益率		6.9%		
為替 レート	米ドル	105円	109円	4円円高
	ユーロ	115円	121円	6円円高

*1 未実現持分証券評価損益が純利益に与えた影響△381億円[’19/4-’20/3]

連結営業利益見通し増減要因

(単位:億円)



'20/3期実績
(米国会計基準)

{ 109円/ドル
121円/ユーロ }

営業利益(Δ19,428)

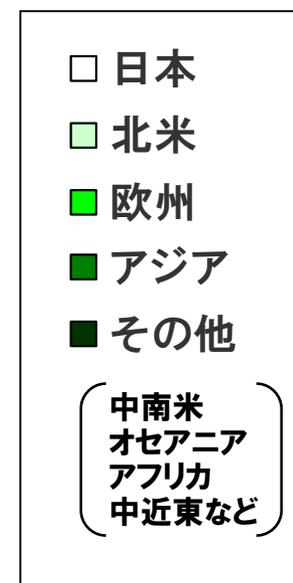
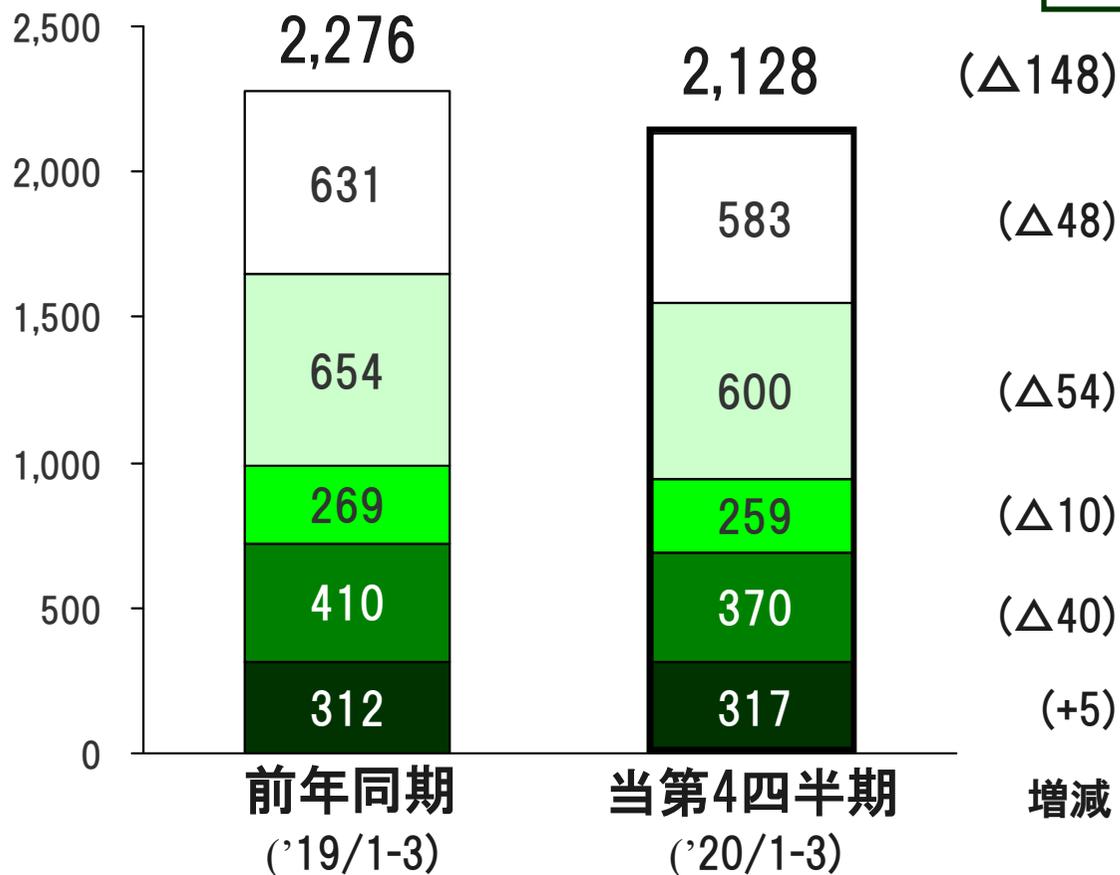
'21/3期見通し
(IFRS)

{ 105円/ドル
115円/ユーロ }

(ご参考)連結販売台数 (3ヶ月)

(単位:千台)

コロナ影響
・連結販売台数 Δ127千台



<ご参考>

グループ総販売台数 (小売)	2,602	2,317	Δ285
-------------------	-------	-------	------

(ご参考)連結決算要約 (3ヶ月)

(単位:億円)	当第4四半期 (’20/1-3)	前年同期 (’19/1-3)	増減
			コロナ影響 ・売上高 △3,800億円 ・営業利益 △1,600億円
売上高	70,998	77,501	△6,503
営業利益	3,840	5,295	△1,454
営業利益率	5.4%	6.8%	
営業外損益	△3,452	301	△3,753
税引前利益	388	5,596	△5,208
持分法投資損益 *1	△322	1,052	△1,374
当期純利益 *2,3	631	4,595	△3,963
〈ご参考〉特定要因(*3)除き	3,683	4,433	△750
当期純利益率	0.9%	5.9%	
為替			
米ドル	109円	110円	1円円高
レート			
ユーロ	120円	125円	5円円高

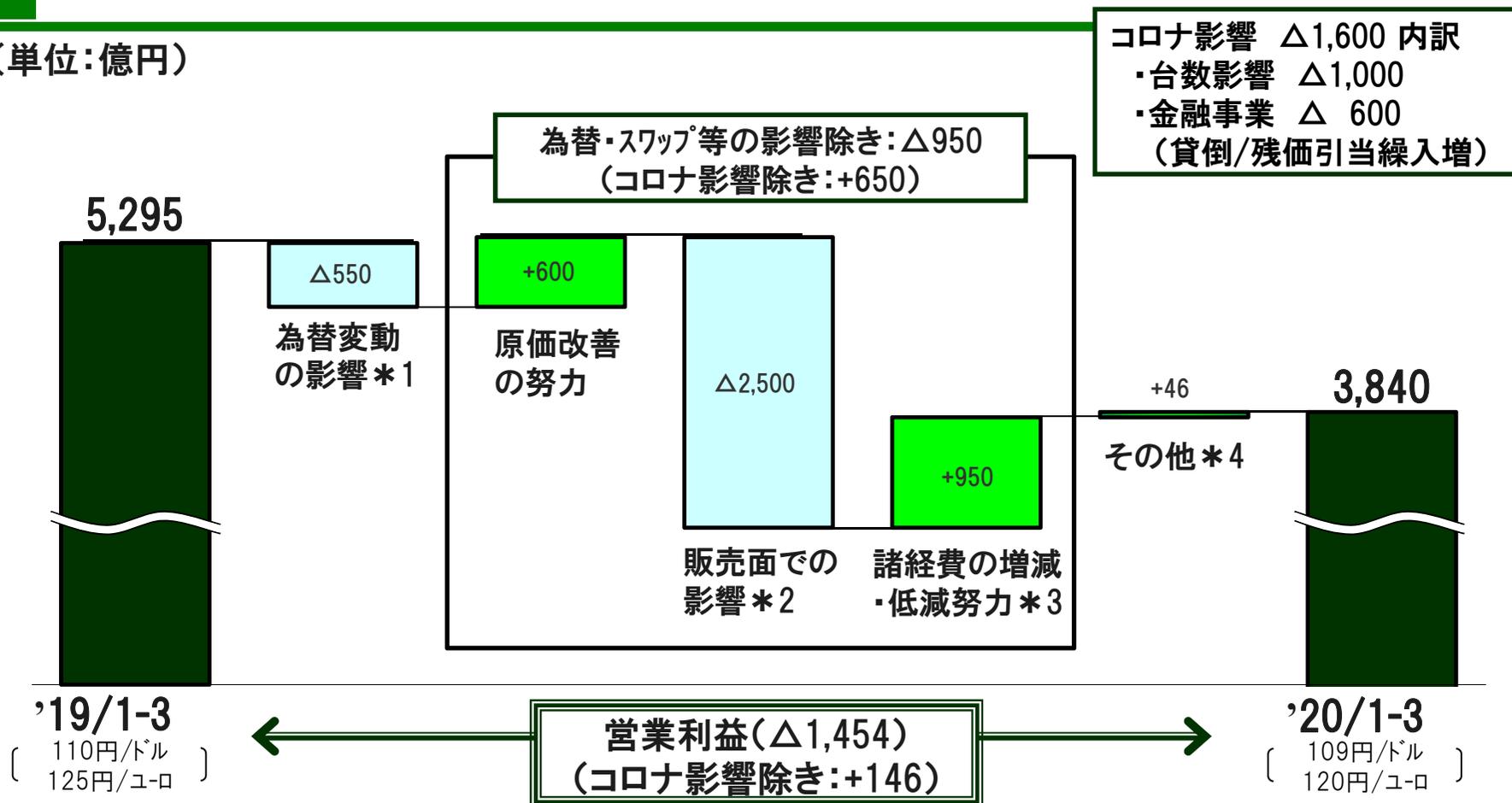
*1 うち、日本△671(前年同期比△1,431)、中国239(同+36)、その他110(同+21)〔’20/1-3〕

*2 当社株主に帰属する当期純利益

*3 未実現持分証券評価損益が純利益に与えた影響△3,052億円〔’20/1-3〕、+162億円〔’19/1-3〕

(ご参考)連結営業利益増減要因 (3ヶ月)

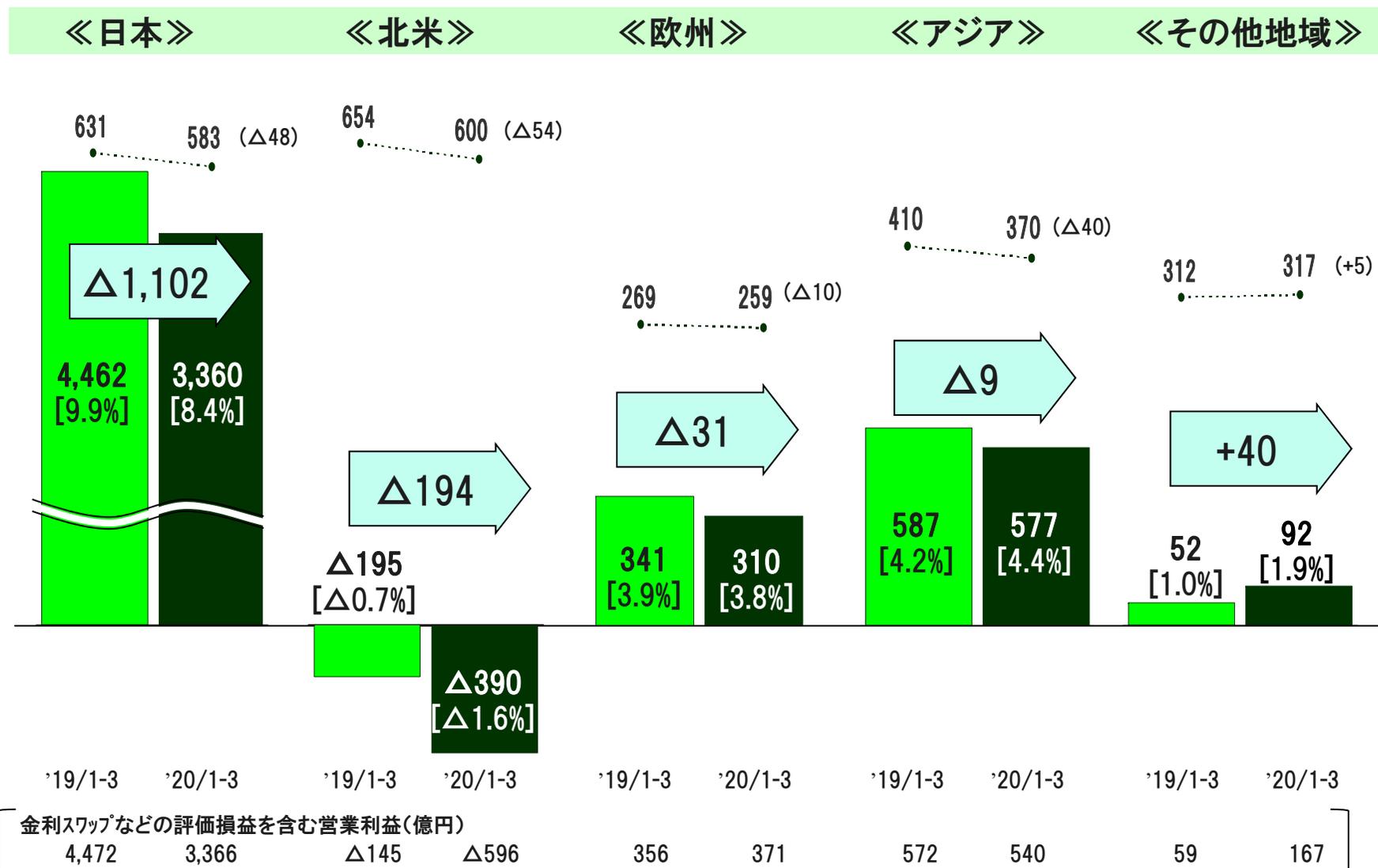
(単位:億円)



*1.内訳		*2.内訳		*3.内訳		*4.内訳	
輸出入等の外貨取引分	△550	海外子会社の	±0	台数・構成	△2,350	労務費	△150
-米ドル	△150	営業利益換算差		金融事業	△750	減価償却費	△50
-ユーロ	△50	その他	±0	その他	+600	研究開発費	+100
-その他通貨	△350	(外貨建引当の期末換算差ほか)				経費ほか	+1,050
						スワップ評価損益ほか	△455
						減価償却方法変更	+501

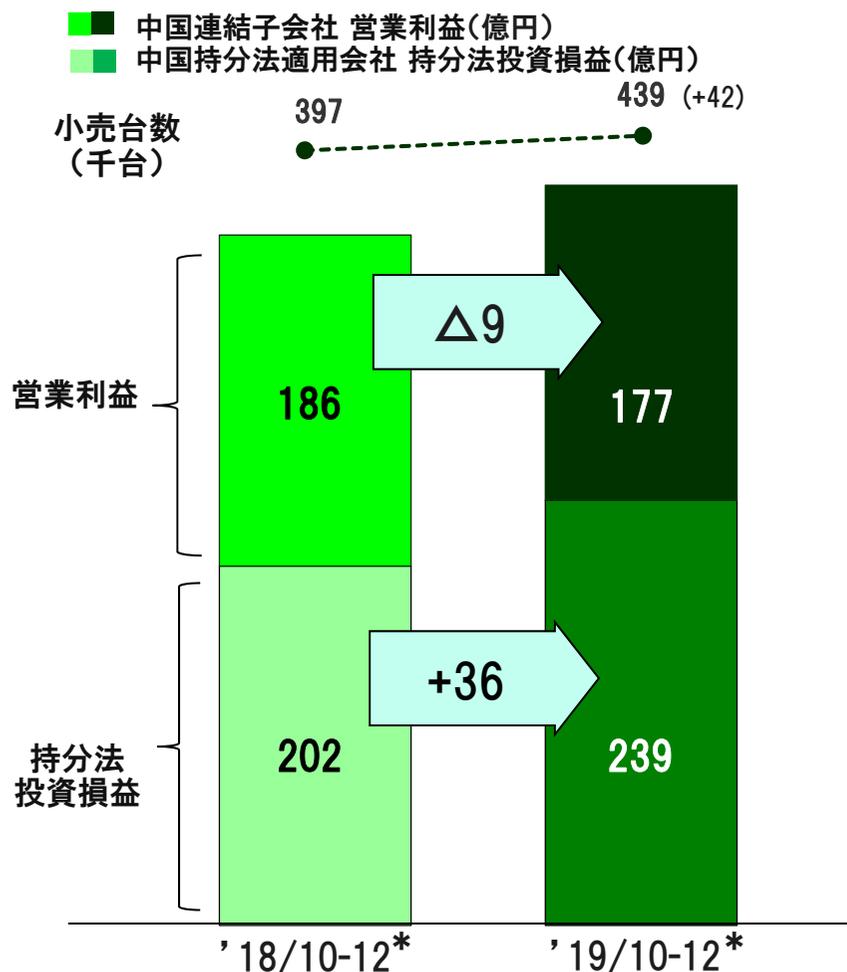
(ご参考)所在地別営業利益 (3ヶ月)

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> []営業利益率 -●- 連結販売台数(千台)



(ご参考)中国事業/金融セグメント (3ヶ月)

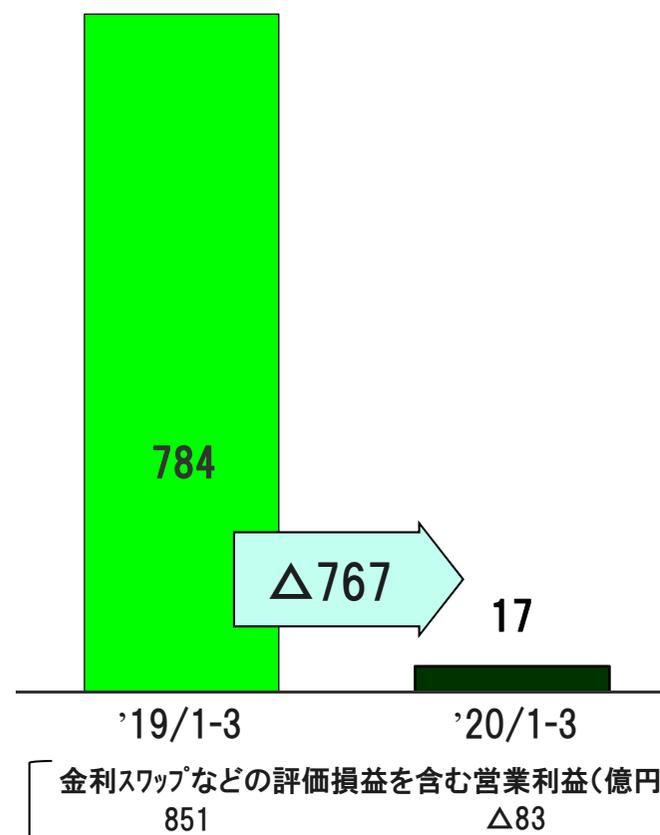
《中国事業の状況(ご参考)》



* 中国の会社は12月決算
10-12月の数値を第4四半期の連結決算に取り込み

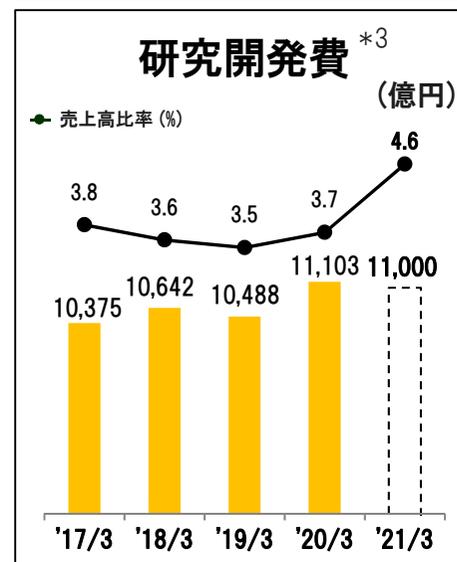
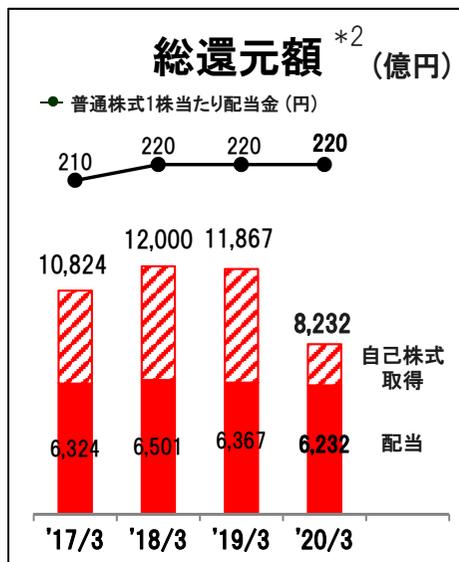
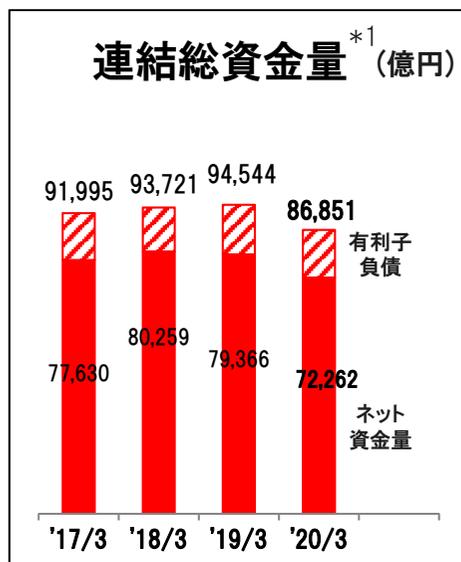
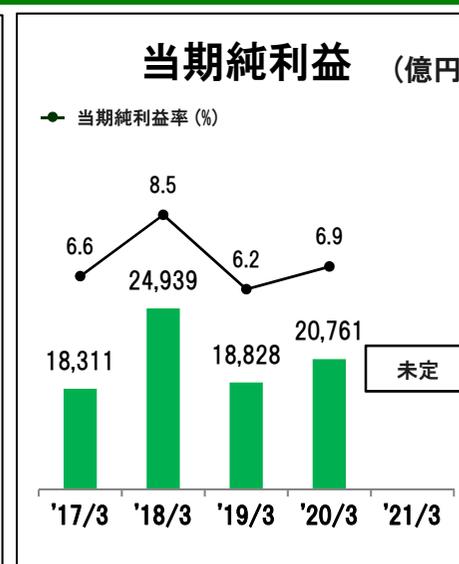
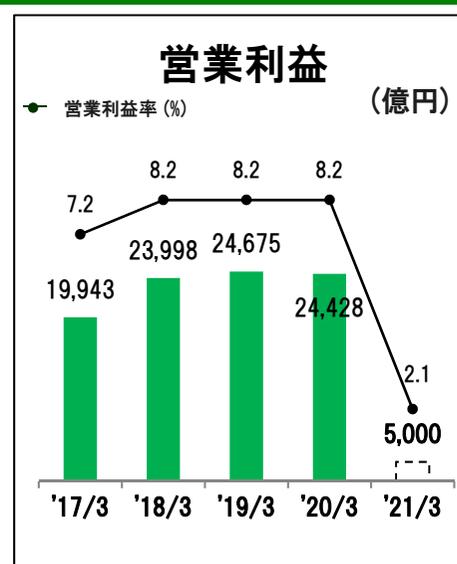
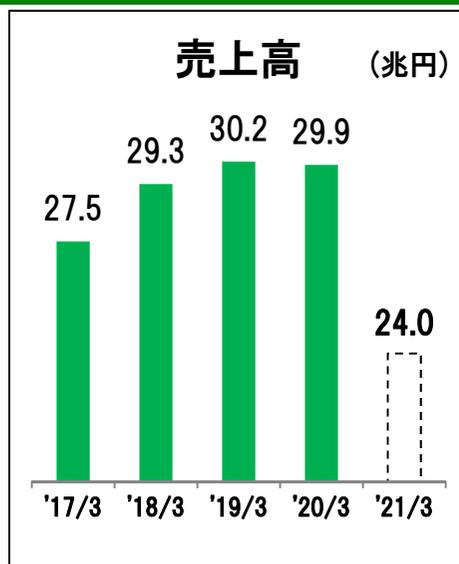
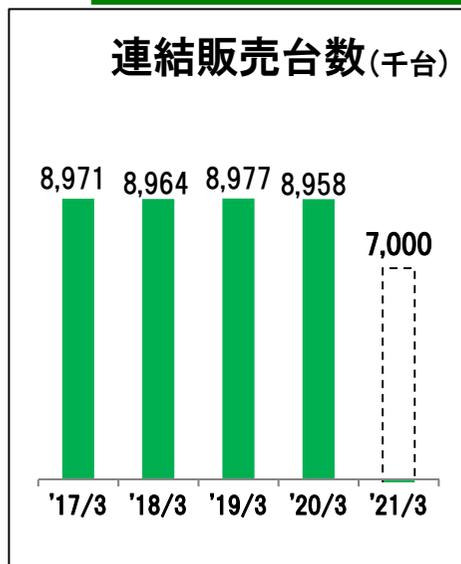
《金融セグメント》

■ 営業利益(億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く>



(ご参考)業績推移

□ 見通し(IFRS)



*1 総資金量：金融事業を除いた、現金及び現金同等物、定期預金、市場性ある負債証券および信託ファンドへの投資

*2 配当には第1回AA型種類株式への配当を含む

*3 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

*4 '20/3期より減価償却方法を変更

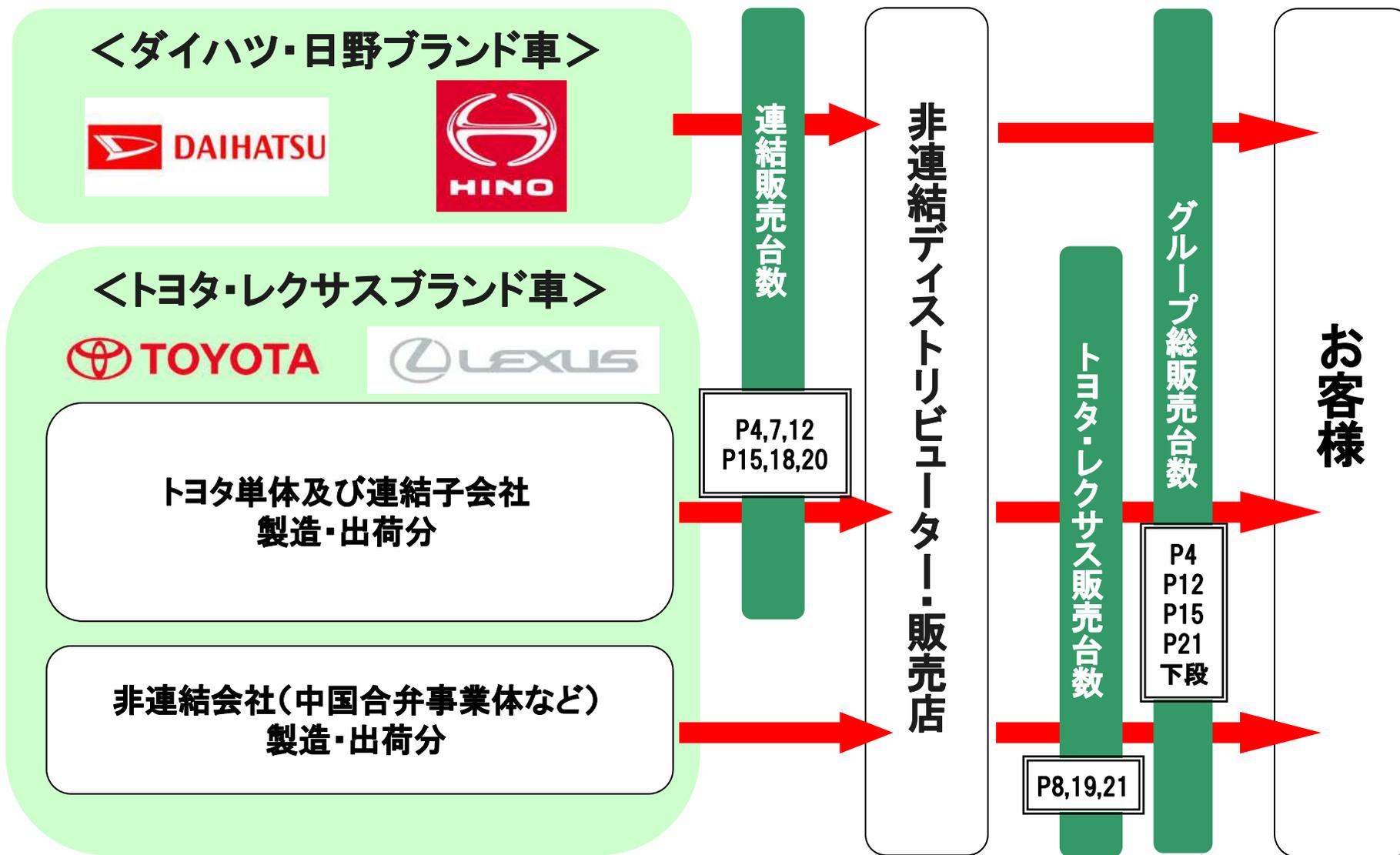
(ご参考)前提台数

(単位:千台)

		前提 ('20/4-'21/3)	実績 ('19/4-'20/3)	増減	
トヨタ・レクサス	生産 *1	国内	未定	3,304	-
		海外		5,437	-
		合計		8,741	-
	販売 (小売) *2	国内	未定	1,587	-
		海外		7,879	-
		合計		8,000	△1,466
	輸出		未定	2,044	-
グループ総販売(小売)*2 … ダイハツ、日野ブランド含む		8,900	10,457	△1,557	

*1. 非連結会社による生産台数を含む *2. 非連結会社による販売台数を含む

(ご参考)販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り